

令和5年度経済学部学生チャレンジプロジェクト事業成果報告書
第四土曜デーはさかいでの笑店街においてまい

代表 奥田 茂人（経済学科 2年生）

（1）目的と概要

目的：この事業では、坂出商店街（香川県坂出市の）で開催されている第4土曜デーに参加することで、坂出商店街を活性化することと、新型コロナウイルスの影響ではできなかった対面での交流を実施することを目的とする。

概要：現在、坂出商店街では月に一度、坂出市商店街連合会が主催して、第四土曜日に「第4土曜デー」というイベントが開催されている。この第4土曜デーに毎月プロジェクトメンバーが参加し、イベントの補助を通じて商店街活性化に携わった。また、商店街の空きスペースをお借りし、こども向けの工作等のワークショップを開催した。

（2）実施期間

2023年7月1日から2024年3月23日まで

（3）成果の内容

1)このプロジェクトの具体的な成果

新型コロナウイルスの影響で減少していた対面での交流ができるようになり、商店街の運営に携わっている方々をはじめ、多くの坂出市民の人たちとの関わりを持つことができた。また、色々な年齢層の方々と話す機会が増え、坂出についてのお話を聞かせてもらい、坂出の新たな魅力を発見することができた。さらに、地域のこどもたちが積極的に参加してくれたため、商店街に賑わいを取り戻すことができ、ワークショップを通じて、こどもたちに食べ物やSDGsについて学んでもらうことができた。

2)このプロジェクトが大学や地域社会の活性化、学業の振興等に対してもたらした影響
あるいは効果

このプロジェクトによる大学や地域社会への影響や効果として、ワークショップを実施したことで、大学生とこどもとのかかわりを作ることができ、商店街をはじめ、坂出に賑わいを生み出すことができた。また、商店街を訪れた方々に、香川大学が地域で積極的に活動していることを知ってもらうことができた。さらに、香川大学生がSNSなどでイベントの紹介をすることで、香川大学生にも坂出商店街や坂出について知ってもらうことができた。

このプロジェクトによる学業への影響や効果として、学生が主体となりワークショップを開催したことで、企画力が身についた。また、地域のみなさんや商店街のみなさんとの

かかわりのなかで、坂出の現状、魅力を知ることができた。

(4) プロジェクトから学んだこと

このプロジェクトでは、私たちさかいで沙弥島プロジェクトからの参加メンバー数の限界を痛感させられた。この影響で、交通費があまりかからず経費も予想以上に残ってしまった。第4土曜デーという名称のイベントの通り、この活動は、毎月第4土曜日の午前中に行われると、予め分かっている活動だったが、様々な事情により参加者が数人の回ができてしまった。この背景に、私たちさかいで沙弥島プロジェクトのメンバー自体の少なさ、私たちの活動の主軸である Hashicafe の営業日が第4土曜デーと重なっていたこと、メンバーの帰省、メンバーの他活動日と重なっていたこと、体調不良者等の理由が挙げられる。特に、3年生卒業後の1月、2月、3月は2、3人での活動になってしまった。これらを通して、来年度からは Hashicafe の営業日について相談を行ったり、プロジェクトメンバー募集の際に、第4土曜デーの存在をアピールして参加可能なメンバーを募集したり、第4土曜日の予定を開けておくようにメンバーに周知したりして、継続的に人数が集まるようにする必要があると学ぶことができた。また、参加メンバーに偏りができたことで、地元の人や出店者、商店街の第4土曜デー実行委員の方々との交流にも偏りができてしまった。第4土曜デー実行委員会の方々との関係は今後も長く続くため、名前と顔を覚えていただくためにも、事前に開催される実行委員会に複数で出席するようにしたい。

中間報告の時点で、こども向けワークショップの参加人数の予測ができないことを課題として挙げたが、1月以降のワークショップでは参加定員を設けることで、効率的にワークショップの費用を使用することができた。また、こども向けの広報が難しいという点についても課題として挙げていたが、坂出市の全小学校、幼稚園、保育園、こども園などに配布している第4土曜デーのチラシに掲載していただくことや、イベント開催日の数日前や当日、イベント開催後に Facebook、Instagram、X の3つの SNS で宣伝することで解決できたのではないかと考える。また、実行委員会の中には、地元の小学校教員や保育士、市役所職員がおられるため、今後の活動で広報が必要な際も相談することができるのではないかと考える。また、さかいで沙弥島プロジェクトの宣伝に十分につなげられていないことも課題点として挙げたが、ワークショップの開催時に私たちの旗を設置するように改善した。

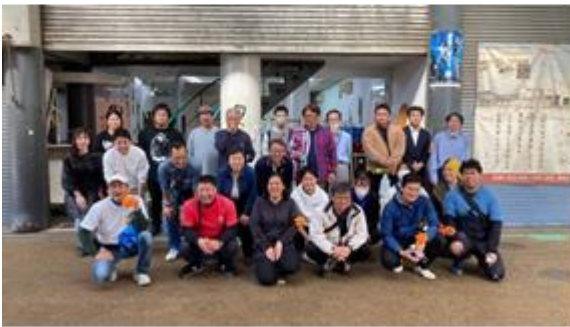
以上のことを踏まえ、今後の展望として、第4土曜デーに参加することでできた商店街のみなさんや出店者とのつながりを活かし、さらにメンバーが自主的、積極的な活動を行うことによって、より坂出市や地域団体との連携を深めていくことを目標としたい。



第四土曜デー8月市の様子



第四土曜デー9月市の様子



第四土曜デー10月市の様子



第四土曜デー11月市の様子



第四土曜デー12月市の様子



第四土曜デー1月市の様子



第四土曜デー2月市の様子

(5) 実施メンバー

代表	奥田 茂人	(経済学部・2年)		
副代表	難波 香好	(経済学部・2年)		
	市名 彩乃	(経済学部・4年)	金田 小万智	(経済学部・2年)
	朝長 知夏	(経済学部・4年)	中道 葉菜	(経済学部・2年)
	井上 俊助	(経済学部・4年)	渡邊 瑠菜	(経済学部・1年)
	蛭子 伸	(経済学部・4年)	妹尾 春佳	(経済学部・1年)
	加藤 渚	(経済学部・4年)	山本 椿	(経済学部・1年)
	中道 祐紀	(経済学部・4年)	露無 音羽	(経済学部・1年)
	高木 悠輔	(経済学部・4年)		
	川渕 瑞葵	(経済学部・3年)		
	坂本 華美	(経済学部・3年)		
	大西 茉彩	(経済学部・3年)		

(6) 執行経費内訳書

配分予算額		60,337円 (配分された額)		
執行経費 (品目など)	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
JR 高松駅-JR 坂出駅(往復)	8	1,060	8,480	
ことடன்太田駅-高松築港 駅(往復)	2	720	1,440	
ガソリン(7/15)	1	1,286	1,286	
粘土キャンドルキット	1	9,680	9,680	
カッターマット	3	329	987	
カイロ	2	263	526	
カッター	3	296	888	
紙袋	1	1,859	1,859	
エコバッグ	20	769	15,380	
スタンプパッド各色	4	758	3,032	
布描きマーカー	1	1,099	1,099	
インクカートリッジ(6色)	1	8,569	8,569	
インクカートリッジ(黒)	1	1,529	1,529	
養生テープ	5	296	1,480	
合計			56,235	